農林漁業分野における民間金融サポートの推進

民間金融機関とのパートナーシップの強化を図っています。

リスク評価に関する情報提供や証券化支援業務を通じて、民間金融機関が積極的に農林漁業分野の融資に参入できるよう環境を整備していきます。

業務協力の締結

平成16年4月の鹿児島銀行を皮切りに、民間金融機関と業務協力に関する覚書を締結し、勉強会、合同営業や協調融資など民間金融機関の農林漁業分野における融資への参入を支援する取組みを行っています。

業務協力金融機関（平成22年3月末現在）
農林中央金庫…… 1
信用農業協同組合連合会……36
信用漁業協同組合連合会…… 1
銀行……83
信用金庫……92
信用組合…… 6
リース会社など ……11
（合計） …… 230

業務協力シンポジウム

ACRIS（農業信用リスク情報サービス）の提供

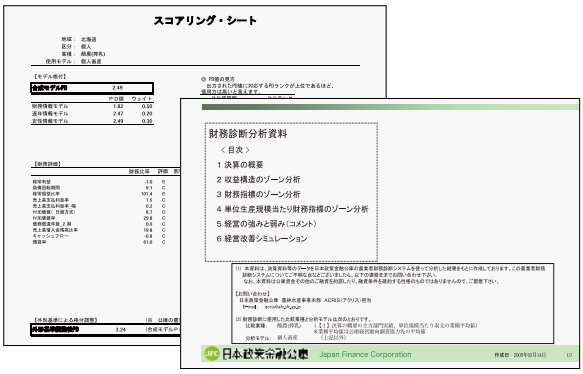
ACRISは、民間金融機関が積極的に農業融資に参入できる環境を整備するため、農林水産事業が開発した農業版スコアリングモデルです。

平成20年10月から、会員有料サービスとしてACRISの提供をスタートしています。

当事業では、ACRISを農業金融活性化のツールとして位置づけ、ご利用いただいている会員の皆さまと業務の連携を進めています。

これにより、農業者の資金ニーズに対し的確な対応が可能となっています。

ACRIS利用による帳票イメージ



証券化支援業務

農林水産事業は、民間金融機関による農業分野での融資推進のため、信用補完への枠組（証券化支援業務）を構築し、提供しています（平成20年10月業務開始）。この枠組を活用することにより、民間金融機関は、融資額の80%または5千万円を上限として信用リスクを日本公庫に移転することが可能となっています。

平成21年度末時点で、全国38の金融機関が当事業と基本契約を締結しています。

このうち20の金融機関で、証券化支援業務による信用補完を組み込んだ農業者向け融資商品を開発しています。

平成21年度の民間金融機関が行う農業者向け融資の証券化支援業務に係る引受実績は、3億円でした。

基本契約を締結した金融機関数

（平成22年3月末現在）

	地方銀行	信用金庫	信用組合	総計
北海道	1	6	—	7
東北	5	1	—	6
関東	1	—	1	2
中部	3	3	2	8
近畿	1	—	—	1
四国	4	—	—	4
九州	5	5	—	10
総計	20	15	3	38
（うち新商品開発）	(13)	(6)	(1)	(20)